

# 横浜の資料館巡りツアー

私たち中村ゼミは、先日ゼミ活動の一環として

横浜の資料館巡りツアーを行いました。私たちのゼミには、他国にルーツを持った学生たちが在籍しており、多文化・多言語社会に関心の多い学生が多いので、JICA横浜国際センターにある海外移住資料館と横浜開港資料館に訪れて日本と外国がどのような関係を持って歴史を歩んできたのか、今回のフィールドワークを通じて多くの学び



国際協力機構 横浜センター「JICA 横浜」

を得ることができました。

最初にJICA横浜国際センターに訪れて、その3階にある赤レンガや港が見えるレストランで昼食をとりました。メニューには、イスラム教の戒律に従って作られたハラールミートを使用した食事やベジタリアン向けの食事、エスニック料理など国際色豊かな料理を楽しむことができました。私たちだけでなくお昼休憩の会社員や外国の方も昼食に訪れているようだったのでぜひ一度訪れてみてください。



JICA 横浜にあるポートテラスカフェで食べられる国際色豊かな料理

外国語学部 英語英文学科3年 吉良 勇祐

お昼を済ませると今度は同じ建物の2階にある海外移住資料館に行きました。ここは南北アメリカを中心とした地域で日本人がどのように移住し、生活したのかを歴史を通じて学ぶことができる資料館でした。現地では実際に資料を読んだり模型を直に見て学ぶだけでなく、ボランティアの方のガイドを受けて、資料からはわかり得ない細



「JICA 横浜」にある海外移住資料館の前



海外移住資料館のボランティアの方の貴重なお話

かな情報も聞くことができました。日本人の海外移住の歴史や日本人移住者が果たしてきた役割や貢献、そして広大な太平洋をまたぐ日本とアメリカ大陸の関係が深く、濃い歴史的背景を持っていることを学ぶことができました。

最後に訪れたのは横浜の歴史を記す横浜開港資料館です。ここに到着してまず最初に驚いたのは大きな木でした。この木は「たまぐすの木」と呼ばれ、1854年に締結された日米和親条約の時からあったと伝えられていて、160年を超える立派な木でした。ここでは横浜を中心とした歴史の中で、横浜が外国との国際交流の場として発展



横浜開港資料館にあるたまぐすの木を背景に集合写真

した背景が記されていました。横浜が国際貿易を通じてここまで大きな都市に成長したことが新聞記事や模型などの媒体を通じて学ぶことができました。

2年前には講義も自宅で受けるほど課外活動とは無縁でしたが、今ではコロナ感染に配慮しながらではありますが、フィールドワークの機会を与えてもらえることができて、私たちが住んでいる地域に関する新しい発見、学びを得られました。今では外国人観光客の足取りも増えてきて、町中ではよく見かけますね。日本の中でも横浜は歴史のある一つの国際交流の場でもあります。皆さん

が横浜の深い歴史を知ることができる資料館に行つて、実際に自分の目で確かめてみてください。